

## 【22\_206思考系メルマガ】「我慢」ではなく『納得』を求めよう

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今回のメルマガは、昨日の

【22\_205技術系メルマガ】自分の『負ける傾向』を把握しよう

の続きのような感じになるのですが、どちらかという『考え方』の話になるので

今回のカテゴリは『思考系』で括らせて貰いました。

内容こそコンパクトですが、日々の積み重ねの中で徐々に実感してほしい事ですので

最後まで読んで、今後に活かしていただきたいと思います。

では、いきましょう。

┌  
└─┬─┐  
    ■ トレードに「我慢」は長続きしない  
└───┘

トレードの『型』を作って、いざフォワードテストに移行した時

最初(途中)にぶつかる壁は「チャンスが見えない」と言う事だと思います。

「見えない」というよりも、「本当に今が『型』なのか？」と疑心暗鬼になったり

焦ってフライングのエントリーをしてしまい、損切り後に目線方向へ伸びてしまったり・・・

最初はそんなエントリーがかなり多いことでしょう。

でも、それ自体は全く問題なくて、要は『型』と自分を擦り合わせる段階なので

最初は馴染まないのが当然なのです。

デイトレを前提として『型』を構築したつもりが、自分の中で期待したほど

頻繁にチャンスが来ないように感じたりして、焦る事もあるでしょう。

ですが、実際トレードチャンスの頻度は、過去チャートの検証母数を集めた事で

『出現しやすい時間帯』『通貨ペア』『1週間の頻度』等、ある程度の見通しはついているはずで  
す。

そのデータから大きく外れていないのであれば、堂々とチャンスを待っていきましょう。

この時に併せて意識してみしてほしいのが、今日のテーマでもある

『チャンスを待つ事』を「我慢する」と捉えるのではなく、『納得出来るところでしか入りたくない』

という思考に切り替える事です。

▼参考ツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1549645791144382464>

ここでいう『納得』というのは、勝った場合だけではなく

『ここで負けるんだったら、まあ仕方ないよね』と言えるような場所を選択するという事です。

それが出来れば、昨日のメルマガで解説した『1マーケット1エントリー』の原則も

納得(笑)して理解してもらえます。

トレードは、自分のメンタルがぐらついている状態で行うのが一番危ないですから

いつも自分を肯定してやれる行動を取れるように、ルール・仕組みを作る事が重要です。

・今日はチャンスの中で、いつも検証してた納得の根拠で入った(負けても納得できる)

・今日はチャンスが無かった(エントリーしたいところが無かったから、これでいい)

・チャンスを逃した(見れる時間ではなかったから仕方ない。次のチャンスに活かす)

こんなふうを考えられる状態で、トレードと振り返りを循環できれば

トレードの精度がまだ甘い段階であっても、大きく負けることは無くなるはずです。

そして検証、振り返りを怠らなければ、それに伴って『技術』は少しずつ向上してきますから

それが利回りにも少しずつ反映されてきます。

焦らず、地に足付けて取り組んでいきましょう。